

2024.3.19

信濃町オフィスを囲む「サンクゼールの森」が 環境省 令和5年度後期の「自然共生サイト」認定 ～人と自然が共生するより開かれた森へ～

「久世福商店」、「St. Cousair（サンクゼール）」「MeKEL（メケル）」などの専門家を全国に約 170 店舗展開している、食品製造小売企業（食品 SPA）の株式会社サンクゼール（本社：長野県飯綱町/代表取締役社長：久世良太）の信濃町オフィス（長野県上水内郡信濃町）を取り囲む「サンクゼールの森」が、本日 2024 年 3 月 19 日、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」として環境省により令和 5 年度後期の「自然共生サイト」に正式認定されましたのでお知らせします。



サンクゼールの森

「サンクゼールの森」は、私たちがオフィスを構える信濃町センター周辺に広がる森です。全国の 170 を超える店舗を支える複数の機能を有するサンクゼールのメインオフィスです。オフィスを取り囲むように約 110,000 ㎡もの森が広がっています。本社のオフィスが事業の拡大とともに手狭になり、追加する形で 2014 年に信濃町センターを開設しました。サンクゼールパートナー（従業員）は、リモートワークを取り入れつつも、この森に囲まれたオフィスに通勤しています。

2030 年までに国土の 30%以上を 自然環境エリアとして保全する (30by30)

30by30（サーティ・バイ・サーティ）とは、2030 年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させる（ネイチャーポジティブ）というゴールに向け、2030 年までに陸と海の 30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする環境省が掲げる目標です。

「ネイチャーポジティブ」の実現に向けた取り組みの一つとして、環境省は令和 5 年度より、企業の保有森や里地里山など「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として認定する取り組みを開始しました。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社サンクゼール（担当：丸山）

☎026-219-3936

E-mail: sc_pr@stcousair.co.jp
<http://stcousair.co.jp/company>



サンクゼールの森の管理と保全活動

「サンクゼールの森」は、サンクゼールパートナーが管理しています。森林を保有する企業は多くありますが、森の中にメインオフィスがあり、従業員自らが管理する森は全国的にも珍しいものです。

また、毎年信州大学教育学部森林生態学研究室の協力を得て、植生の調査や森林整備、定点的な調査活動を行っています。自然共生サイトの認定評価において、ゾーニングを設ける等の適正な管理により、多様な生物が生息している点が評価されました。

サンクゼールの森は、2014年に当社が取得するまで、工場跡地として管理が滞っていました。また、森には60～70年の老木が多く、間伐等により成熟した森を復興する取り組みを継続してきました。工場跡地であって生物多様性の価値が認められる点、また、樹木の高齢化に継続して対応し、森林の価値を向上する点も認定審査において評価されています。

人と自然が共生するより開かれた森へ

中長期的な目標として、地域住民等にも解放し木材供給等の生産活動の更なる推進、遊歩道、野外デスク、保育園、図書館、カフェ等を設ける、人と自然が共生するより開かれた森を目指しています。「サンクゼールの森」が地域住民やパートナーの憩いの場となり、生物の多様性に富んだ豊かな森の中で、生産性の高い創造的な業務に取り組める環境を整備して参ります。

サンクゼールのサステナビリティ

サンクゼールでは、企業の成長と社会の持続可能性を同時実現するために、サステナブル経営の推進に取り組んでおります。私たちは、サステナビリティに関する7つの重点項目を設定し、それぞれの項目に従い社会や地球環境の持続可能性につながる活動を行っています。この度の「サンクゼールの森」の「自然共生サイト」認定を受け、更なるサステナブル経営の推進に取り組んで参ります。

サステナビリティのURL：<https://www.stcousair.co.jp/company/sustainability>

サンクゼールの森から。URL：https://note.com/stcousair_forest